

令和8年度

施政及び予算編成方針

池田市長

瀧澤智子

本日ここに、令和8年度各会計予算案をはじめとする諸議案を提出するとともに、「施政及び予算編成方針」を申し述べ、議員各位並びに市民のみなさまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

本年度を振り返りますと、まず思い起こされるのは、「2025年大阪・関西万博」の開催です。世界各国から注目を浴びる中、国及び大阪府を中心に多くの自治体や企業などが一丸となり、共に力を尽くしてまいりました。

本市においては、大阪府と連携して子どもたちを万博会場に招待しました。最先端の技術や多様な文化に触れ、未来の暮らしに想いを馳<sup>は</sup>せることのできる、またとない貴重な経験や夢を与えられたと考えております。また、市民や事業者のみなさまと行政が連携し、会場内外において様々な取組を実施してまいりました。

こうした取組を通じて得られた経験やつながりは、今後のまちづくりにおける貴重な財産となります。万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」にも因み、これらの成果を池田の未来へとつなげてまいります。

万博の空気によって、日本と世界がより身近に感じられる日々でしたが、本市としても、姉妹・友好都市との交流を活発化し、

昨年度の蘇州市に引き続いて、本年度はローンセストン市の市長にお越しいただきました。いずれも行政間の交流にとどまらず、市民や事業者のみなさまからも温かいおもてなしにご協力をいただきました。コロナ禍という大きな試練を乗り越え、両市長と再び固い握手を交わすことができたこと、そして、今後の各市との密接な連携を改めて確認できたことは、非常に喜ばしく、また、大きな希望を感じました。

現代社会は多様性の尊重、多文化共生をめざす一方で、排外的な主義・主張も一部では見られるようになっていきます。本市といたしましては、国籍やジェンダー、年齢、障がいの有無などにかかわらず、全ての人が自分らしく暮らすことができ、誰一人取り残すことのない協働のまちづくりに努めていくことを改めて強く申し上げたいと思います。

市民のみなさまの日々の生活におきましては、終わりの見えないエネルギー価格や食料品価格などの高騰の影響があります。

本市においては、物価高騰対策として国の交付金を活用し、子育て世帯の経済的な負担軽減に直結する施策として学校給食費の無償化を継続するとともに、市民のみなさまが幅広く恩恵を受けられるよう、上下水道の基本料金を4か月間減免いたします。加えて、プレミアム付デジタル商品券の発行や、若者世代を対象

とした食料品配布事業に取り組み、きめ細かな生活支援を実施してまいります。

これらの取組を着実に進めながら、国や大阪府の動向などを踏まえ、時代の流れに応じた施策を検討するとともに、計画期間の4年目となる「第7次池田市総合計画」のめざすまちの将来像である「笑顔あふれる豊かな暮らしを未来につなぐ みんなが大好きなまち」の実現に向けて、引き続き持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

それでは、令和8年度の主要施策の概要を申し述べさせていただきます。

はじめに、重点的に取り組むべきテーマといたしまして、「教育・子育て支援や日々の暮らしにかかわる取組の充実など、若い世代の転入とその後の定住につながる施策を推進すること」、加えて、「多様な人材の活躍や新たな官民連携事業・取組の創出など、地域の活力向上につながる施策を推進すること」を掲げ、まちの中長期的な持続可能性の向上をめざすことといたしました。

具体的な事業内容は、第7次総合計画の4本の施策の柱と各施

策に基づきご説明してまいります。

まず、「価値を高め発信するまちづくり」についてであります。

『環境共創』のまちづくり」に関しましては、再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備の導入を促進するため、各種補助制度の実施を継続するとともに、「第3次池田市環境基本計画」の中間見直しを行い、計画の進捗や目標の達成状況を踏まえ、効果的な施策の実施に向けてさらに検討を重ねてまいります。

循環型社会の推進につきましては、「池田市廃棄物減量等推進審議会」を開催し、「第3期池田市一般廃棄物処理基本計画」に掲げる中間目標の達成状況について、適切に進捗管理を行ってまいります。

「地域特性をいかしたまちづくり」に関しましては、企業や大学・研究機関などの多様な主体との協働を推進し、それぞれが有するリソースを活かしたまちづくりを官民連携で行ってまいります。

本年度に完成した阪急池田駅南広場「<sup>ク</sup><sup>レ</sup><sup>パ</sup>KUREPA」につきましては、より多くの利用を促すための適切な周知・PRを行うとともに、安全・安心に利用いただけるよう、環境整備に努めてま

います。また、駅北側エリアの回遊性と滞在快適性の向上につながる取組として、コミュニティセンター跡地を活用した新たな交流スペースの整備を行い、誰もが歩きたくなるようなウォーカブルなまちの実現をめざしてまいります。

伏尾台地域につきましては、阪急バス伏尾台営業所跡地において、コンビニエンスストアとしての役割にとどまらない、様々な地域課題解決に向けた拠点となる施設のオープンが予定されています。この動きに合わせて、地域一帯のビジョンを描く「伏尾台地域官民連携まちづくり基本方針」を策定し、地域の活性化に取り組んでまいります。

細河地域につきましては、地域のみなさまのご意向を尊重しながら、「池田市市街化調整区域のまちづくり基本方針」の見直しを進めてまいります。

「都市活力の維持と活性化」に関しましては、細河地域でのスマート農業及び農福連携を軸としたビジネスモデルの確立に努めるとともに、参画に興味のある企業に対して横展開を図るなど、さらなる普及に向けた取組を進めてまいります。

商工業の振興につきましては、地域経済の持続的な発展を支えるため、引き続き商工業者や商店街を主体とした取組への支援を

推進し、にぎわい創出に取り組んでまいります。

「シティプロモーションの展開」に関しましては、本市で活躍する方を紹介する「THE GOOD LIFE IKEDA インタビュー」の記事を活用し、池田への関与意欲の向上をめざすとともに、池田への愛着を育む募集企画「池田の魅力 子どもコンテスト」を展開するなど、地域住民を巻き込んだシティプロモーションに取り組んでまいります。

観光の推進につきましては、今年は猪名川花火大会の隔年開催が決定してから初めての開催となります。昨今の気候の状況を踏まえ、来場者や運営に携わる関係者の安全確保の観点から、開催時期を11月に変更いたしました。市民のみなさまをはじめ、市外からお越しいただくみなさまにも楽しんでいただける花火大会となるよう、川西市と連携の上、準備を進めてまいります。

次に、「子どもと大人の未来を育てるまちづくり」についてであります。

「子ども・子育て支援の充実」に関しましては、「こどもまんなか社会」の実現に向けまして、子どもの権利保障を推進してまい

ります。

その取組の一つとして、ワークショップを開催し、子どもの権利の普及・啓発に努めるとともに、子ども・若者の意見を聴く場を設けてまいります。また、「18歳までのこどもなんでも相談窓口」のさらなる利用を促進し、子どもだけでなく、子育てに悩む保護者の支援にも注力してまいります。

母子保健につきましては、心身のケアや育児のサポートを受けることで安心して子育てができるよう、産後ケア事業や多胎家庭サポート事業に取り組み、育児負担の軽減を図ってまいります。

また、プレコンセプションケアの推進や卵子凍結費用の助成をすることで、自身の生活や健康に向き合い、一人ひとりの選択肢を広げられるよう、取組を進めてまいります。

ファミリーサポートセンターにつきましては、援助会員への報酬を増額するとともに、利用者負担を軽減することで、会員数の増加と相互援助活動の活性化を図り、地域全体で子育てできる環境整備に努めてまいります。

保育に関する取組につきましては、令和8年度から「こども誰でも通園制度」が全国において本格実施されることから、本市に

おきまして子どもの受入れ体制の拡充を図り、生後6か月から3歳未満の未就園児の子育て家庭を支援してまいります。

療育・発達支援の充実につきましては、やまばと学園を市全体の障がい児支援の中核的施設と位置づけ、発達支援及び家族支援の機能強化を図るとともに、新たに医療的支援機能を持たせるため、現在整備中の多世代交流施設の北側隣地への移転に向けた整備を検討してまいります。

また、子どもの健康診査について、現行の3歳6か月に実施する健康診査では認知されにくかった発達上の課題を早期に発見するため、新たに5歳児に対する健康診査の機会を創設し、子ども一人ひとりの特性に合わせた適切な支援を行ってまいります。

「学校教育の充実」に関しましては、施設の老朽化対策とこれからの時代の学びにふさわしい整備の一体的な推進をめざし、本年に策定予定の「池田市未来の学校づくり推進計画」に基づき、取組を進めてまいります。

学校教育に関わる家庭への支援につきましては、国が令和8年度からの制度化をめざす小学校給食費の無償化に加え、これまでも独自施策として実施してきた中学校給食費の無償化を切れ目

なく継続することで、物価高騰の影響を受ける子育て世帯に対する負担軽減を図ってまいります。

「生涯学習の推進と郷土愛の醸成」に関しましては、現在休館中のくれは音楽堂の耐震補強及び補修工事が完了したことに伴い、4月から利用を再開し、市民による社会教育実践の場の充実を図ってまいります。また、万博の理念・レガシーを身近に感じていただけるよう、大屋根リングの木材をステージ床として活用する整備を行います。

「文化・芸術・スポーツ活動の推進」に関しましては、市民文化会館の安全性確保や機能維持のため、大ホールの改修や老朽化の著しい設備の全面更新など、大規模改修工事に向けて検討を進めてまいります。

また、社会人落語日本一決定戦や池田市美術展など、市内各地で市民が多様な文化や芸術に触れられる機会を引き続き提供してまいります。

次に、「いきいきと暮らし続けられるまちづくり」についてであります。

「人権と多様性を尊重するまちづくり」に関しましては、フェムケア事業として、育児や家事、介護、仕事など、日々の生活に追われる女性が、自身の体と向き合えるような機会を創出します。また、思春期の子どもが性について学び、自身の健康やライフプランについて考える機会となるような啓発冊子を中学3年生に配布し、出前講座を実施いたします。

さらに、女性が自分の想いを形にし、一步を踏み出すことを応援する人材育成事業「Ikeda Women's Network」や、男性の仕事と家庭の両立を支援する取組などを引き続き展開することで、女性も男性も、誰もがいきいきと活躍できる地域社会をめざしてまいります。

また、外国人のみなさまが安心して生活できるよう、多言語相談窓口や日本語教室の開催など引き続き必要なサポートを行うとともに、地域のみなさまを交えた懇談会を実施するなど、多文化共生社会の実現に向けた交流機会の充実を図ってまいります。

地域福祉の推進につきましては、令和10年度を始期とする「第5期池田市地域福祉計画・第6次池田市地域福祉活動推進計画」の策定に向けたアンケート調査を実施し、市民のみなさまの潜在的なニーズを把握するとともに、本市に合った支援体制の構築について分析・検討してまいります。

「高齢福祉の充実」に関しましては、令和9年度中に供用開始となる多世代交流施設を整備するとともに、世代を超えた交流や新たなコミュニティの醸成につながる施設をめざして、その具体的な利活用の方針についても検討を進めてまいります。

介護保険事業につきましては、令和9年度を始期とする「第10期池田市高齢者福祉計画・池田市介護保険事業計画」の策定を進めるとともに、多様化・複雑化するニーズに対応できるよう、サービス提供体制及び支援体制の強化に取り組んでまいります。

「障がい福祉の充実」に関しましては、令和9年度を始期とする「第8期池田市障害福祉計画・第4期池田市障害児福祉計画」を策定し、それぞれの障がいに適した福祉サービスの提供体制の確立を図るとともに、障がいのある方の権利保障や社会参画の促進につながる新たな取組の実施に向けて、当事者のニーズを把握するためのアンケート調査を実施します。

また、働く意欲のある障がい者の就労の場を確保し、安心して長く働き続けられるよう、就労支援体制の強化に取り組んでまいります。

「保健・医療の充実」に関しましては、国民健康保険事業につ

いて、特定健康診査及び特定保健指導の実施率の向上をめざすとともに、健康意識の啓発をはじめ、生活習慣病の発症・重症化予防により、被保険者の健康づくりへの支援をより一層強化してまいります。

高齢者の保健事業につきましては、健康意識向上のためのイベントや介護予防の通いの場などにおける健康教育・健康相談を実施し、健康診査の受診率向上を図るとともに、慢性疾患の重症化予防事業を引き続き実施することで、健康寿命の延伸、医療費の適正化を推進してまいります。

がん検診につきましては、早期発見・早期治療による疾病予防につなげるため、胃がん内視鏡検査において、国が特に受診を推奨する年齢の方を新たに無償化することで、受診率の向上及び健康寿命の延伸をめざしてまいります。

地域医療体制の充実につきましては、市立池田病院が将来にわたって継続的に急性期医療を担う地域の基幹病院として、また、地域医療支援病院として市民のニーズに沿った安全・安心で質の高い医療を提供できるよう、経営強化プランに基づき、取組を進めてまいります。

最後に、「快適さを実感できる安全・安心なまちづくり」についてであります。

『危機への備え』の充実に関しましては、地域防災無線の再整備に取り組み、災害時における迅速かつ的確な情報提供の確保を図ってまいります。あわせて、自主防災組織の育成を進めるとともに、災害時における民間企業との連携を一層強化し、地域防災力の向上に努めてまいります。

既存民間建築物の耐震につきましては、今後発生する可能性のある大規模地震に備え、危険なブロック塀の除却費用、木造住宅の耐震化に係る耐震診断・設計及び改修に対し、引き続き助成を行うことで、地震による被害を軽減し、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

また、雨水整備につきましては、「公共下水道事業計画」に基づいて、引き続き市街地の雨水対策を推進してまいります。

消防・救急体制につきましては、増え続けている救急需要に安定的に対応するため、高規格救急自動車2台の更新を行うなど、引き続き救急体制の維持に努めるとともに、近隣市とのさらなる水平連携の強化を図ってまいります。

「快適な住宅・住環境づくり」に関しましては、長期的な視点に基づいた市営住宅の管理や維持保全を行い、良質な公的住宅の供給に努めます。特に、老朽化が顕著な市営秦野住宅につきましては、住宅ニーズを踏まえた建替えに向けて基本設計を行ってまいります。

空き家への対策につきましては、所有者が不在・不明の建物について財産管理制度を活用することで、空き家問題の解消を図り、周辺住民の安全で快適な暮らしを確保してまいります。

公園・緑地の利活用につきましては、豊島東公園、石橋西公園の再整備を進めるとともに、その他の公園につきましても、老朽化した遊具などの設備の更新を行い、地域のみなさまの多様なニーズに沿った公園整備を順次行ってまいります。

五月山緑地につきましては、「地域住民が一日中気持ちよく過ごせる子育てのまち池田を象徴する公園」を実現するため、今春の開業をめざして官民連携によるカフェ・レストランの整備を行うとともに、幹線園路の法面補強工事やハイキングコースの森林整備にも努めてまいります。

休園中の五月山動物園につきましては、本年度オーストラリアから新たに2頭のウォンバット「ソラ」と「リク」を迎え入れま

した。また、その愛称の決定にあたっては、全国から3,000件近いご応募をいただき、注目度の高さを改めて実感したところ  
です。

市民のみなさまや全国のウォンバットファンのみなさまの期待に応えるためにも、これまで以上に魅力的な動物園をめざし、令和9年中のリニューアルオープンに向けて引き続き整備を進めてまいります。

「道路・公共交通の充実」に関しましては、損傷の著しい道路の修繕・舗装工事を実施するとともに、狭あい道路の解消にも取り組んでまいります。

老朽化する橋<sup>りょう</sup>梁<sup>りょう</sup>につきましては、「池田市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、予防的な修繕を施工することにより、延命化を図り、安全性を確保するとともに、更新時期を分散させライフサイクルコストの縮減を図ってまいります。

地域公共交通につきましては、運転士不足による近年の路線バスの減便状況を踏まえ、ハローワークや近隣市と連携した就労セミナーを開催するとともに、持続可能な交通ネットワークの実現に向けて「池田市地域公共交通計画」の見直しを行います。

交通安全の確保につきましては、歩道拡幅や交差点のカラー化など、交通安全施設の整備を進めることで、安全で安心な通園・通学環境を整えてまいります。

また、引き続き自転車用ヘルメットの購入に要する費用の補助を実施し、着用率の増加を図るとともに、交通マナーの向上をめざして周知・啓発に取り組んでまいります。

「上下水道の充実」に関しましては、安全・安心な水道水を安定して供給するため、「池田市第2次上水道施設整備計画」に基づき、重要施設に接続する管路を含めた水道管の更新、耐震化など、危機管理体制の充実と既存施設の更新を進めてまいります。

加えて、下水処理による公衆衛生の確保、公共用水域の水質保全のため、計画的に下水道管、下水処理施設などの更新及び耐震化に取り組んでまいります。

また、将来にわたって安定的に事業を継続していくため、新たな経営戦略の策定に着手し、事業運営のあり方や適切な料金体系について検討してまいります。

以上、4本の施策の柱と各施策に基づく事業の内容について申し述べました。

さらに、第7次総合計画のすべての施策において意識すべき「まちづくりの進め方」に関わる3つの視点につきまして、これらを推進するための主な取組をお示しいたします。

まず、「SDGsの推進」に関しましては、「池田市SDGs推進プラットフォーム」の構成員を対象とした新たな補助制度を創設することで、市民やステークホルダーのSDGsへの意識を一層高めるとともに、官民連携による新たな事業の創出を推進してまいります。

次に、「みんなで取り組むまちづくり」に関しましては、地域分権制度が制度開始から20年目を迎えることから、節目となる今年是有識者による「池田市地域分権検討会議」を開催し、これまでの活動実績を検証するとともに、今後の制度のあり方について検討してまいります。

公益活動の促進につきましては、その役割が果たす社会的重要性に鑑み、市民の多様な活動を総合的かつ効果的に促進するため、公益活動に取り組む市民に対する公益活動助成金の交付の実施や、市民活動交流センターを核とした人材育成や連携などに係る様々な事業を通じて、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現し

てまいります。

最後に、「持続可能な都市経営」に関しましては、「池田市DX推進指針」に掲げる市民サービスのDX・行政内部のDXの一層の推進に向けて、引き続き各分野のDXを進めてまいります。

職員の育成につきましては、「池田市人材育成基本方針」に沿って、階層別研修を中心に計画的に研修を実施するとともに、DXの効果的・効率的な推進にあたり、大阪府のデジタル人材シェアリング事業を活用した高度専門人材による研修を実施するなど、職員のデジタルスキルやDXの実践力の向上に一層努めてまいります。

また、本年度実施したエンゲージメント調査の結果を踏まえて効果的な人事施策を検討・実施するとともに、育児休業や年次休暇などの取得率向上によるワークライフバランスの充実に努めるなど働きやすく活力のある職場環境づくりをめざしてまいります。

あわせて、組織のスリム化や職員数の最適化を図りつつ、限られた職員数でも成果を発揮できる組織づくりに努めてまいります。

公共施設のマネジメントにつきましては、財政面での課題や今後の人口減少を見据え、本年度に策定する「池田市公共施設再整備事業計画」において将来的な総量削減目標を掲げるとともに、施設の集約・複合化などの手法を用いた効率的な再整備を図ってまいります。また、施設総量の減少が行政サービスの低下につながらないように、市民のみなさまのニーズをしっかりと把握しながら、利便性の向上や地域の活性化をめざしてまいります。

そして、これまで述べた諸々の施策の拠り所となる第7次総合計画の前期基本計画は、令和9年度で終期を迎えます。続く令和10年度からの後期基本計画の策定に向けて、前期計画の振り返りや今後対応すべき課題の整理など鋭意取り組んでまいります。

続いて、これらの施策に係る予算につきまして、ご説明いたします。

本市の財政は、昨年度の一般会計決算で見ると、健全化判断比率の各指標は健全段階を維持いたしましたが、単年度収支は赤字となり、経常収支比率は99.7%と前年度から2.3ポイント悪化するとともに、財政調整基金は14億円を取り崩すことになるなど、依然として財政構造の改善には至っておりません。

また、物価高騰や賃金上昇の影響で公共サービスに必要なコストは年々増加しています。加えて、公共施設などの再整備や災害対応の強化など、義務的経費の増加が予想されます。このような状況下での予算編成にあたっては、公共サービスの利用に係る受益者負担の適正化を図るとともに、事務事業の見直しを徹底し、限られた財源の中で「選択と集中」を図りながら、第7次総合計画に基づく各施策を着実に実行することにより、将来にわたって行政サービスを提供し続けるための「持続可能な都市経営」の実現をめざすことといたしました。

その結果、総予算規模は、991億4,052万2千円で、会計別に申し上げますと、

|               |               |
|---------------|---------------|
| 一般会計          | 467億4,100万円   |
| 国民健康保険特別会計    | 105億7,604万8千円 |
| 財産区特別会計       | 2億8,612万8千円   |
| 介護保険事業特別会計    | 110億4,407万8千円 |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | 28億807万4千円    |
| 病院事業会計        | 184億5,660万円   |
| 水道事業会計        | 43億8,549万8千円  |
| 公共下水道事業会計     | 48億4,309万6千円  |

となっております。

以上、令和8年度の「施政及び予算編成方針」を申し述べさせていただきます。

先にも申し上げましたが、令和8年度からは国による小学校給食の無償化が予定されております。本市においては取組を先行しながら、これまで幾度にもわたり国に対する要望を重ねてまいりました。私自身の課題意識に拠ることはもとより、議員各位や市民のみなさまの声が重なり合って一つになり、また、全国の多くの自治体とも共鳴して大きなうねりとなったことが、今回の国の動きにつながったものと受け止めています。

多くの起業家を生んだ、この池田のまちに息づくアントレプレナーシップ。事始め奨励大賞などの機会を通じてこれを常に感じ、誇りに思っていますが、行政自身もこのマインドを持って挑戦をし続ける必要があります。そして、地域分権制度をはじめ、このまちには市民一人ひとりがまちづくりを考え、共に取り組んでくださる土壌があります。

令和8年度におきましても、多様化・複雑化する社会課題へ果

敢に立ち向かうとともに、市民のみなさまのお声をしっかりと聴き、力を合わせ、池田市が次の世代に誇れるまちとなるよう全力を尽くしてまいります。

最後に、本議会に提案しております令和8年度予算をはじめ、諸議案に対しまして、議員各位の貴重なご審議を賜り、各般の施策が実現できますことを念願いたしまして、「施政及び予算編成方針」といたします。

令和8年2月27日

池田市長 瀧澤 智子